

二川中学校の ESD 活動

<活動の概要>

- ・「二川トレジャー ～未来の創造、これからの社会で私たちができることは何か～」をテーマに掲げ、総合的な学習の時間、キャリア教育活動、学校行事などにおいて、地域を学習の場として取り組んでいる。
- ・1年生「地域発掘」、2年生「地域貢献」、3年生「地域参画」をそれぞれの学年テーマに、地域の人材、施設、企業を活用して、地域から学ぶとともに、地域で活躍したり貢献したりできる生徒の育成を目指す。

・活動の実際

① 地域に貢献し、関わる学習

(2年生・特別支援学級・吹奏楽部・PTA)

地域の大きな行事である「二川宿本陣まつり」では、大名行列参加や本陣資料館案内ガイドに加え、2年生が企画したスタンプラリーや昔遊びなどで来場者を楽しませた。さらに、PTAによる「本陣茶屋」では、みたらし団子や五平餅を生徒が焼いて販売した。また、特別支援学級の生徒による手作り作品の販売や吹奏楽部による演奏もまつり会場の雰囲気をもくした。



まつりに参加するにあたり、二川本陣資料館を訪れて本陣についての理解を深めたり、大名行列での奴踊りを地域のかたに習ったりするなど、地域と関わりながら準備を進めていった。

そして、当日はお世話になったかたがたへの感謝の気持ちや自分たちが住む地域を盛り上げたいという生徒の思いがあふれる一日となった。



② 地域や世界へ向けて動き出す学習

(3年生)

3年生の総合的な学習では、SDGsを柱とした個人課題の設定と追究活動を行った。地域の企業のかたに話を聞いたり、フィールドワークやインターネットで調べたりして自主的に学習を進めた。のんほいパークで取り組んでいる動物の保全活動について、呼びかけるポスターを制作しパーク内に掲示したり、環境保全のために植樹活動を行ったりして、一人一人が地域や環境、世界をよりよくするためにできることを考え、自ら行動しようとする姿をたくさん

目にする事ができた。活動結果を学級で発表し、学年全体でSDGsについて考えた。

